

平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月13日

上場取引所 大

上場会社名 高橋カーテンウォール工業株式会社
 コード番号 1994 URL <http://www.t-cw.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 高橋 武治
 (氏名) 影山 信博

TEL 03-3271-1711

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	4,300	△10.8	△318	—	△293	—	△307	—
23年12月期第3四半期	4,818	△19.7	△491	—	△494	—	△1,662	—

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 △279百万円 (—%) 23年12月期第3四半期 △1,663百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	△35.26	—
23年12月期第3四半期	△189.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年12月期第3四半期	10,643	3,105	29.1	355.81
23年12月期	11,541	3,383	29.3	387.82

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 3,099百万円 23年12月期 3,379百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年12月期	—	0.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,725	△7.2	△455	—	△445	—	△235	—	△26.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年12月期3Q	9,553,011 株	23年12月期	9,553,011 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

24年12月期3Q	841,625 株	23年12月期	839,617 株
-----------	-----------	---------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年12月期3Q	8,711,767 株	23年12月期3Q	8,755,238 株
-----------	-------------	-----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災からの復興需要等を背景として緩やかな回復の兆しが見られるものの、電力供給問題に加えて欧州の債務危機や新興国経済の減速など経済の先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況の下建設業界におきましては、復興に関連する需要の増加は期待できるものの、労務費の高騰等厳しい経済環境が続くなか、当社企業グループは徹底したコスト管理と営業・生産の総合力で受注高確保を図っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は43億円（前年同四半期比10.8%減）、営業損失3億18百万円（前年同四半期は4億91百万円の営業損失）、経常損失2億93百万円（前年同四半期は4億94百万円の経常損失）、四半期純損失3億7百万円（前年同四半期は16億62百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

①PCカーテンウォール事業

工事量の減少による受注競争の激化が続くなか差別化商品での受注拡大やコストダウンに注力しておりますが、売上高及び利益ともに減少となりました。

この結果、売上高は30億71百万円（前年同四半期比19.6%減）、セグメント損失は3億15百万円（前年同四半期は2億58百万円のセグメント損失）となりました。

②アクア事業

当社オリジナル可動床の開発や既存プールのメンテナンス工事にも力を入れ売上拡大を図っております。

この結果、売上高は3億58百万円（前年同四半期比158.0%増）、セグメント損失は3百万円（前年同四半期は42百万円のセグメント損失）となりました。

③システム収納家具事業

価額競争は厳しいものの大型工事の完工もあって大幅な増収となり、利益を確保できました。

この結果、売上高は5億56百万円（前年同四半期比235.1%増）、セグメント利益は1百万円（前年同四半期は87百万円のセグメント損失）となりました。

④建設事業

組織のスリム化と効率化により利益確保を目指しておりますが、売上高は低調で利益も確保できませんでした。

この結果、売上高は3億28百万円（前年同四半期比60.2%減）、セグメント損失は9百万円（前年同四半期は1億10百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は106億43百万円と前連結会計年度末と比較して8億97百万円の減少となりました。これは主に受取手形・完成工事未収入金等が5億25百万円減少したこと、保険積立金が3億85百万円減少したことによるものであります。

②負債の状況

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は75億38百万円と前連結会計年度末と比較して6億19百万円の減少となりました。これは主に支払手形・工事未払金等が3億87百万円減少したことと、社債が3億64百万円減少したことによるものであります。

③純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は31億5百万円と前連結会計年度末と比較して2億77百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金の欠損補填による資本剰余金16億97百万円の減少と、利益剰余金が同額の増加と四半期純損失の計上により13億90百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年8月9日に公表しました連結業績予想と変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	454,239	417,819
受取手形・完成工事未収入金等	1,403,687	878,667
未成工事支出金	2,114,096	2,319,214
その他のたな卸資産	97,667	67,006
その他	93,691	84,102
流動資産合計	4,163,382	3,766,809
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	1,006,469	951,535
土地	1,504,294	1,546,610
その他(純額)	151,605	129,658
有形固定資産合計	2,662,368	2,627,805
無形固定資産		
	110,179	105,274
投資その他の資産		
投資有価証券	221,065	161,481
投資不動産(純額)	2,590,457	2,562,592
保険積立金	1,057,072	671,751
その他	779,225	790,476
貸倒引当金	△42,437	△42,437
投資その他の資産合計	4,605,382	4,143,866
固定資産合計	7,377,931	6,876,945
資産合計	11,541,314	10,643,755
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,240,855	853,516
短期借入金	2,048,088	3,392,089
1年内償還予定の社債	1,231,400	1,014,900
未成工事受入金	333,264	566,415
工事損失引当金	117,580	138,300
引当金	37,469	60,801
その他	182,821	226,380
流動負債合計	5,191,478	6,252,402
固定負債		
社債	838,900	474,000
長期借入金	1,356,551	59,985
役員退職慰労引当金	372,167	353,452
引当金	1,585	1,463
その他	397,190	396,881
固定負債合計	2,966,393	1,285,781
負債合計	8,157,872	7,538,184

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,542,968	4,542,968
資本剰余金	1,697,751	—
利益剰余金	△2,681,059	△1,290,445
自己株式	△153,729	△153,899
株主資本合計	3,405,930	3,098,623
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△26,726	983
その他の包括利益累計額合計	△26,726	983
新株予約権	4,237	5,964
純資産合計	3,383,441	3,105,571
負債純資産合計	11,541,314	10,643,755

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
完成工事高	4,818,433	4,300,418
完成工事原価	4,706,559	4,138,879
完成工事総利益	111,873	161,539
販売費及び一般管理費	603,154	480,519
営業損失(△)	△491,280	△318,979
営業外収益		
受取利息	1,434	549
受取配当金	1,662	2,320
投資有価証券売却益	567	6,294
保険解約返戻金	1,679	56,015
投資不動産賃貸料	38,734	85,991
鉄屑売却収入	25,382	22,661
その他	48,115	45,973
営業外収益合計	117,576	219,806
営業外費用		
支払利息	57,024	60,645
社債発行費	2,409	—
投資有価証券評価損	5,040	2,348
不動産賃貸費用	26,932	61,488
その他	29,547	70,178
営業外費用合計	120,954	194,660
経常損失(△)	△494,658	△293,834
特別利益		
完成工事補償引当金戻入額	3,700	—
特別利益合計	3,700	—
特別損失		
固定資産売却損	185	—
固定資産除却損	41,983	1,392
減損損失	677,000	—
災害による損失	35,627	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,842	—
特別損失合計	759,639	1,392
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,250,598	△295,227
法人税、住民税及び事業税	7,761	7,804
法人税等調整額	404,513	4,105
法人税等合計	412,275	11,909
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,662,873	△307,136
四半期純損失(△)	△1,662,873	△307,136

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,662,873	△307,136
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△667	27,709
その他の包括利益合計	△667	27,709
四半期包括利益	△1,663,541	△279,427
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,663,541	△279,427

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	PCカーテン ウォール事 業	アクア事業	システム収 納家具事業	建設事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,822,484	138,813	166,150	690,983	4,818,433	—	4,818,433
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	135,679	135,679	△135,679	—
計	3,822,484	138,813	166,150	826,663	4,954,112	△135,679	4,818,433
セグメント損失(△)	△258,266	△42,276	△87,471	△110,657	△498,670	7,390	△491,280

(注)1 セグメント損失(△)の調整額7,390千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	PCカーテン ウォール事 業	アクア事業	システム収 納家具事業	建設事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,071,457	358,096	556,730	314,134	4,300,418	—	4,300,418
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	14,722	14,722	△14,722	—
計	3,071,457	358,096	556,730	328,856	4,315,141	△14,722	4,300,418
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△315,680	△3,348	1,170	△9,393	△327,252	8,272	△318,979

(注)1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額8,272千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社企業グループの経営資源の配分の決定及び業績評価の対象を見直した結果、前第3四半期連結累計期間において「その他」に含めていた「不動産賃貸事業」及び「環境関連ビジネス」については、第1四半期連結会計期間より「建設事業」に含めて記載する方法に変更しております。これにより、前第3四半期連結累計期間の報告セグメントについては、変更後の区分に組替えて作成しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。